



市民の会
草野 勝義
議員

▼施政方針と当初予算について

Q まちづくりと観光振興はどのような視点で進めるのか。

A 島原城や武家屋敷、松平七万石の歴史などを活用した城下町観光、島原半島世界ジオパークにおける国内外のジオパークとの連携の促進、島原ならではの食や湧水と温泉、体験型・周遊型観光の展開やスポーツキャンプ等の誘致など、関係団体と連携を図りながら交流人口の拡大に努め、観光の振興を図っていききたいと考えている。

Q 地域交通とのネットワークの形成について、市長の見解は。

A 昨年十二月に施行された交通政策基本法に基づく地域公共交通の充実に向けた国の施策の動向も注視しながら、まちづくりや観光振興の施策と連携した公共交通のあり方について、検討を進めていきたいと考えている。

Q 文化財を巡るウォーキングコースを設定し、観光名所としてアピールする考えはないのか。

A 教育委員会で実施している史跡巡

りなどを参考に、島原ならではの文化財をめぐるコースの設定を協議し、健康増進、交流拡大の面からも関係団体と連携し取り組んでいきたいと思っている。

▼養護老人ホームありあけ荘の現況について

Q ありあけ荘は民間移譲が進められているが、募集要項の検討はどのような状況なのか。

A ありあけ荘移譲先候補選定委員会を設置し、第一回の委員会を三月に開催するよう準備を進めており、募集要項の検討や今後のスケジュールを審議してもらう予定である。

Q 事業者の選定基準に、ありあけ荘で働いている職員の雇用も重視する必要があると思うがどうか。

A 正規職員については、事前に本人への十分な説明と意向確認を行うなど、処遇については十分配慮していきたい。臨時職員については、本人が希望する場合は、継続雇用についてできる限り配慮するよう事業者へ要請したいと考えている。

【その他の質問項目】

◇住宅リフォーム制度の実績について

◇学校教育について



凡人くらぶ
清水 宏
議員

▼個人情報保護法の運用の具体化を

Q 個人情報保護条例の基本は尊重しながらも、高齢者の見守り活動のために、高齢者の名簿等を町内会、自治会に情報提供すべきであると訴えてきたが、情報を開示する決断をしたのか。

A 地域における高齢者等の見守りネットワークづくりを目的とした個人情報情報の取り扱い、本人の権利・利益の保護と、公益性、公共性との両立を図る必要があると認識している。情報漏えい等の防止措置を講じながら、事件、事故を未然に防ぐため、支援が必要が高齢者等に関する個人情報情報の取り扱いを柔軟に見直すことにより、地域における高齢者の見守りネットワークづくりの強化を図っていきたい。新年度に個人情報保護審議会を開催し、審議会の意見を参考に具体的に検討していきたい。

▼船津高潮対策「高潮堤防案」への地元の声

Q 「高潮堤防案」はどのような内容なのか。

A 湊新地付近から霊南付近及び白水川の護岸のかさ上げと、有馬船津下の内海への湧水や流入水の対策として、潮だまり堤防の設置と排水ポンプを設置する計画である。

Q ①広馬場下の内海の埋め立て、②有馬船津下の堤防に道路の整備を検討できないのか。

A ①関係機関や関係者と協議しながら検討していきたい。②連結する道路の問題等もあるが、住宅が密集する地域であり、緊急車両が通行する道路の必要性は認識しており、堤防上の道路も含め検討していきたい。

▼交通指導員減少への対応

Q 交通指導員の人数減少と高齢化が問題になっていると聞くが、「広報しまばら」で現場の声を特集して募集できないか。

A 交通指導員の会合でも人数の確保を要望する声があるので「広報しまばら」への掲載や、町内会、自治会からの情報なども参考に進めていきたい。

【その他の質問項目】

◇天如塔修復で新名所が誕生するか

◇市民の声から（防災無線の定時化と緊急対応、PM2.5情報、「島原市のみくらぶ」の全戸配布を切望する）

◇憲法はそもそも何のためにあるのか